

2021 年度

名古屋大学大学院生命農学研究科  
博士後期課程

学生募集要項  
(一般入試・社会人入試)

名古屋大学大学院  
生命農学研究科

## 名古屋大学大学院生命農学研究科のアドミッション・ポリシー

### (1) 入学者受入れの方針

生命農学を探究するために必要な学力を有し、高い専門性を持った指導者や技術者として、知識と能力を社会に役立てようという志をもつ国内外の人材を求めています。

### (2) 選抜の基本方針

「生命農学関連専門科目の知識・理解力と論理的思考力・応用力」を学力検査によって、「英語能力」を外部試験成績によって評価します。また、研究能力を修士論文により評価します。さらに「志望する研究分野に対する明瞭な志向と研究への熱意」、および「その分野に関連する基本的な知識と理解力」を面接・口述試験によって評価し、入学者を選抜します。

#### **個人情報の取り扱いについて**

出願にあたって提供された住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、入学選抜、合格発表、入学手続及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理を行うためのみに利用します。

また、取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に使用いたしません。

# 目 次

## 2021 年度名古屋大学大学院 生命農学研究科博士後期課程学生募集要項

A 一般入試	1
B 社会人入試	8

2021 年度本研究科博士後期課程に入学させる学生を下記により募集する。

**A 一般入試**

**1. 出願資格**

次の各号の一に該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び 2021 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は 2021 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は 2021 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国に大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2021 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和 51 年法律第 72 号）第 1 条第 2 項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び 2021 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、上記資格(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格した者及び合格する見込みの者で、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成 6 年文部省告示第 123 号）  
 大学を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学・研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者  
 (注) 6 頁の「出願資格(7)による出願について」を参照のこと。
- (8) 本研究科において、個別審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2021 年 3 月 31 日までに 24 歳に達している者  
 (注) 7 頁の「出願資格(8)による出願について」を参照のこと。

**2. 募集人員**

専攻	研究室	募集人員
森林・環境資源科学*	土壌圏物質循環学 森林環境資源学 森林水文・砂防学 森林生態学 森林保護学 森林資源管理学 森林社会共生学 植物土壌システム 森林化学 循環資源利用学 木材物理学 木材工学 生物システム工学	38名
植物生産科学	植物生理形態学 植物遺伝育種学 作物科学 作物ストレス制御 園芸科学 植物病理学 植物免疫学 耕地情報利用 食料経済学 植物遺伝子機能 ゲノム農学 植物ゲノム育種 生物産業創出 熱帯生物資源 生物遺伝情報 実践アフリカ開発 実践アジア開発	
動物科学	動物遺伝育種学 ゲノム・エピゲノムダイナミクス 動物形態学 動物統合生理学 動物生殖科学 動物栄養科学 動物生産科学 鳥類バイオサイエンス 水圏動物学 資源昆虫学 害虫制御学	
応用生命科学	生物有機化学 生物活性分子 天然物ケミカルバイオロジー	

	高分子生物材料化学 食品機能化学 応用酵素学 分子生物学 分子細胞制御学 分子生体制御学 糖鎖生命科学 動物細胞生理学 栄養生化学 土壌生物化学 応用微生物学 植物情報分子 生物化学 ゲノム情報機能学 光合成科学 分化情報制御 動物細胞機能 植物細胞機能 植物代謝システム** 環境調和システム**	
--	---	--

入学志願者は、出願の前に志望先の研究室へ研究内容等について問い合わせること。

(研究室については、研究内容及び教員一覧参照)

※ 森林・環境資源科学専攻の入学志願者で希望する者は、2009年度より環境学研究科と共同で実施している統合環境学特別コースに参加し教育、指導を受け、研究を行うことができる。

なお、統合環境学特別コースに関する問い合わせは、農学部・生命農学研究科教務学生係に行うこと。

※※ 植物代謝システム研究室及び環境調和システム研究室は、独立行政法人理化学研究所環境資源科学研究センターとの連携によって2008年10月に新たに設置された連携研究室である。本研究室に所属する学生は、連携先において客員教員から研究指導を受ける。

### 3. 出願期間

**2020年11月24日(火)から11月26日(木)(郵送の場合は16時必着)まで**

受付時間：9時から16時まで（11時30分から13時30分は除く）

### 4. 出願書類

提出書類	必ず提出○ 該当者のみ提出△	
(1)入学志願票、写真票及び受験票	○	本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、作成すること
(2)写真	○	出願前3か月以内に撮影のものを、写真票に貼付すること
(3)成績証明書	○	学部（教養課程を含む）及び大学院の成績を証明するもの ※日本語あるいは英語で書かれていない場合は、英訳版を添付すること
(4)修士学位	○	修士学位取得（修了）証明書又は取得（修了）見込証明書 ※名古屋大学大学院生命農学研究科を修了した者は不要 *中国の大学を卒業した者は下記注意事項を参照のこと
(5)TOEFLまたはTOEICのスコアシート	△	出願資格(7)又は(8)の者のみ提出 必ず3頁の「6. 考査実施方法」の「(1)外国語（英語）試験におけるスコアシートの提出」を参照のこと
(6)修士論文	○	修士論文（又はこれに相当する論文）写1篇及び要旨（和文又は英文）3通（修士論文（又はこれに相当する論文）が未完成の場合は、4,000字程度の要旨（3通）を提出すること）
(7)入学検定料	○	30,000円 郵便普通為替で納入すること。購入方法の詳細は下記郵便局ホームページにて確認すること。 <a href="http://www.post.japanpost.jp/bank/exchange/">http://www.post.japanpost.jp/bank/exchange/</a> なお、 <u>指定受取人住所・氏名欄は記入しない</u> こと。 ※ただし、本学大学院研究科博士前期課程（修士課程）を修了し、引き続き本課程に進学する者は、入学検定料を要しない

(8)領収証書(控)・領収証書	○	本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、作成すること（ <u>氏名のみ</u> 記入すること）
(9)受験票返送用封筒	○	定形の長形 3号封筒（12×23cm）に受験票を必ず受け取ることができる住所を記入の上 374円切手を貼付すること
(10)受験承諾書	△	官公庁、会社等に在職の場合提出 本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、作成すること
(11)履歴書（外国人用）	△	本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、作成すること（ <u>日本国籍を有しない者のみ提出</u> ）
(12)在留カードの写し （両面）	△	<u>日本国籍を有しない者</u> （日本国永住許可を得ている者を除く）

\* 中国の大学卒業者は、中国政府機関直轄の財団である『中国教育部学位与研究生教育发展中心（CDGDC）』から発行される認証書を印刷し、他の出願書類とともに提出すること。  
 認証書発行に関する手続きの詳細についてはCDGDCのホームページ（<http://www.cdgdc.edu.cn>）で確認すること。発行に時間がかかる場合もあるため、手続きは早めに行うこと。  
 なお、過去1年以内にCDGDCを通じて本研究科に当該書類を提出した者は、教務学生係に相談すること。

## 5. 出願手続

(1) 出願者は、前項の書類を取り揃え本研究科に提出すること。

また、郵送する場合には、封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書し、書留郵便で出願期間内に下記あてに必着するよう送付すること。

送付先 〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学農学部・生命農学研究科 教務学生係

(2) 出願手続後の書類の書き換え及び検定料の払い戻しはできない。

## 6. 考査実施方法

(1) 外国語（英語）試験におけるスコアシートの提出（出願資格(7)又は(8)の者のみ提出）

外国語（英語）の試験については、TOEFLまたはTOEICのスコアによる判定を行う。ただし、出願資格(1),(2),(3),(4),(5),(6)の者は免除する。

① 試験の方法

TOEFLまたはTOEICあるいは両方のスコアシートを提出すること。筆記試験は実施しない。TOEFLまたはTOEICの得点は以下の方法で算出したものを外国語得点として採用する。TOEFL及びTOEIC両方のスコアシートを提出した場合は換算後、いずれか高い方の得点を採用する。

■ TOEFLを利用した場合：

英語得点 =  $50 + (\text{TOEFL-iBT スコア} - 50) \times 5/3$ （100点以上は100とする）

■ TOEICを利用した場合：

英語得点 =  $\text{TOEIC スコア} / 10$

※ ただし換算された英語得点が50点未満の場合は不合格となる。その場合でも検定料の返還は行わないので注意すること。

② 対象となるスコア

TOEFL-iBTおよびTOEIC（Listening & Reading Testに限る）のいずれかの試験の成績を採用する。団体用のTOEFL-ITP、TOEIC-IPテスト、TOEIC（Speaking & Writing Test）、

TOEIC(Speaking Test)および TOEIC(Bridge Test) は認めない。なお、留学生で TOEIC-PBT のスコアを有している者は予め教務学生係に相談すること。

③ スコアシートの提出

TOEFL については、「Examinee Score Report」(受験者用控えスコア票)の原本を出願時に提出すること。TOEIC については、「Official Score Certificate」(公式認定証)の原本を出願時に提出すること。

④ スコアシートの有効期限

入学試験実施日から過去 2 年以内 (2019 年 1 月 5 日以降) に実施され、出願時に提出可能なものを有効とする。

TOEFL の「Examinee Score Report」(受験者用控えスコア票)の原本の返却を希望する者は、封筒〔長形 3 号 12×23cm〕にあて名を書き、切手 (374 円) を貼付のうえ提出すること。なお、TOEIC 「Official Score Certificate」(公式認定証)の返却は行わないので注意すること。

(2) 口述試験

日 時 2021 年 1 月 5 日(火) 10 時から 17 時までのうち 1 時間 30 分 または  
2021 年 1 月 6 日(水) 9 時から 12 時までのうち 1 時間 30 分  
(くわしくは 1 月 5 日(火)に指示する。)

口述試験の内容

志望する専攻の研究内容に関連した科目についての専門的学力、研究計画のほか、修士論文等、および外国語 (英語) 能力について実施する。

(3) 試験場

名古屋大学大学院生命農学研究科 (農学部)

市バス「名古屋大学」、地下鉄「名古屋大学」駅下車、又は地下鉄「東山公園」駅下車南へ 500m

7. 合格者発表

2021 年 1 月 6 日(水)夕刻、本研究科の掲示板に掲示し、生命農学研究科ホームページ (<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/>) に掲載する。後日郵送にて本人あて通知する。

8. 入学手続

(1) 入学手続については、2021 年 3 月初旬までに本人あて通知する。

(2) 入 学 料 282,000 円 (予定額)

(3) 授 業 料 前期分 267,900 円 (予定額)  
(年 額 535,800 円 (予定額))

(注) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

(4) 入学手続日は、2021 年 3 月下旬 (20 日頃) の予定

9. 注意事項

(1) 考査実施の細部については、試験当日掲示する。受験者は試験開始 20 分前までに試験室に入ること。

(2) 障害等があつて試験場での特別な配慮を必要とする者にあつては、2020 年 10 月 30 日(金)までに、次の 3 点を農学部教務学生係へ提出してください。

1) 受験上の配慮申請書 (障害の状況、受験上配慮を希望する事項とその理由等を記載したもの、様式随意, A 4 サイズ)

- 2) 障害等の状況が記載された医師の診断書，障害者手帳等（写しでもよい）。
  - 3) 障害等の状況を知っている第3者の添え書（専門家や出身学校関係者などの所見や意見書）。
  - 4) 適宜それ以外の書類を添付しても構わない。
- なお，受験や入学後の修学に関して相談の希望がある者は，出願期限までにお問い合わせください。

## 10. その他

入学試験についての照会先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学農学部・生命農学研究科 教務学生係  
電話 (052) 789-4299・4010  
E-mail : kyomu@agr.nagoya-u.ac.jp

2020年9月

名古屋大学大学院生命農学研究科  
<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp>

### ※不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により，試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は，次のホームページ等により周知しますので，出願前や受験前は特に注意してください。

- ◇ 生命農学研究科受験生向けホームページ

URL [http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/jukensei/j\\_daigakuin.html](http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/jukensei/j_daigakuin.html)

- ◇ 連絡窓口

名古屋大学農学部・生命農学研究科 教務学生係  
TEL 052-789-4299・4010



## 出願資格(7)による出願について

### 1. 出願資格(7)により出願する者は、次の要件を満たす者であること。

大学を卒業後、研究機関、教育機関、企業等において、2021年3月31日までに2年以上研究に従事し、学術論文、著書、研究発表、特許等により、修士学位論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者。

### 2. 出願資格審査

出願資格(7)により出願する者については、あらかじめ次の書類を **2020年10月16日(金) [必着] までに**、農学部・生命農学研究科教務学生係（「10. その他」の「入学試験についての照会先」を参照）へ提出又は郵送（書留郵便で封筒の表に「出願資格審査願」と朱書）し、出願資格の有無についての個別審査を願い出ること。

出願資格審査の結果は、2020年11月9日以降本人あて通知する。

受付時間：9時から16時まで（11時30分から13時30分は除く）

- ① 出願資格(7)による出願資格審査願 本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、本人が記載
- ② 大学卒業証明書
- ③ 研究成果報告書 本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、本人が4,000字程度で記載，論文形式
- ④ 研究実績調書 本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、本人が記載
- ⑤ 研究歴証明書 本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、所属の長等が証明したもの
- ⑥ 推薦書 本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、所属の長等が証明したもの
- ⑦ 学術論文、著書、研究発表、特許等の写しの添付
- ⑧ 履歴書（外国人用） 本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、本人が記載（日本国籍を有しない者のみ提出）
- ⑨ 返信用封筒 1通 出願資格審査結果通知用  
定形の長形3号封筒（12×23cm）に本人のあて名を記入し、374円切手を貼ること。  
（宛先が海外の場合は、返信に必要な郵便料金の国際返信切手券（IRC）を同封すること。）

### 3. 出 願 期 間

上記、出願資格審査の結果、出願資格「有」と判定された者は、2頁の「4.出願書類」を、2020年11月24日(火)から11月26日(木)までに教務学生係へ提出のこと。

郵送で出願する場合も、この期間内に必着のこと。

受付期間：9時から16時まで（11時30分から13時30分は除く）

## 出願資格(8)による出願について

### 1. 出 願 資 格

出願資格(8)により出願する者は、本研究科において、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2021年3月31日までに24歳に達している者であること。

### 2. 個 別 審 査

出願資格(8)により出願する者については、あらかじめ次の書類を **2020年10月16日(金)〔必着〕までに**、農学部・生命農学研究科教務学生係(「10. その他」の「入学試験についての照会先」を参照)へ提出又は郵送(書留郵便で封筒の表に「出願資格審査願」と朱書)し、出願資格の有無についての個別審査を願い出ること。

本研究科で個別審査を実施し、その結果は2020年11月9日以降に本人宛通知する。

受付時間：9時から16時まで(11時30分から13時30分は除く)

#### ① 出願資格(8)による出願資格個別審査願

本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、本人が記載

#### ② 修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があることを示す資料

※ 資料は下記の項目から該当するものを提出するが、一項目に限定しない。例：1) と 3)

##### 1) 履歴に短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校等の学歴を有する者

これらについての卒業又は修了証明書(卒業又は修了見込みの者については、その証明書)、成績証明書及びシラバス(授業要目)

##### 2) 履歴に技術的・専門的職業についての職歴を有する者

その期間及び職務内容を明記した在職証明書及び本人の作成した成果報告書(様式は問わない)

##### 3) 履歴に研究歴を有する者

研究歴証明書(本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、所属の長等が証明したもの)、研究実績調書(本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、本人が記載)及び、研究成果報告書(本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、本人が4,000字程度で作成、論文形式とする)

##### 4) 業績として学術論文、著書、研究発表、特許、作品等を有する者

これらを示す資料

#### ③ その他、審査の参考となる資料(自薦、他薦による推薦書など)

#### ④ 履歴書(外国人用) 本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、本人が記載 (日本国籍を有しない者のみ提出)

#### ⑤ 返信用封筒 1通 出願資格審査結果通知用 定形の長形3号封筒(12×23cm)に本人のあて名を記入し、374円切手を貼ること。

(宛先が海外の場合は、返信に必要な郵便料金の国際返信切手券(IRC)を同封すること。)

### 3. 出 願 期 間

上記、出願資格審査の結果、出願資格「有」と判定された者は、2頁の「4.出願書類」を、2020年11月24日(火)から11月26日(木)までに教務学生係へ提出のこと。

郵送で出願する場合も、この期間内に必着のこと。

受付期間：9時から16時まで(11時30分から13時30分は除く)

## B 社会人入試

### 1. 趣 旨

科学技術の著しい進歩と多様化に伴い、社会の広い分野において豊かな想像力と研究能力を有し、研究開発の指導的な役割を果たし得る人材養成の社会的要請に応え、本研究科博士後期課程では各種の研究機関、教育機関、企業等で研究開発などに活躍中の社会人を大学院に受け入れ、併せて教育研究面における社会との交流を一層深めようとするものであります。

このような趣旨に基づき、博士課程の学生にふさわしい専門知識と学力を有する社会人を対象として、さらに大学院における高度な学術の継続研究と博士学位取得への道を開くため、学生募集を実施します。

### 2. 出願資格

研究機関、教育機関、企業等に勤務する研究者・技術者等で、所属長の推薦を受け、入学後も引き続きその身分を有する者で、次の各号の一に該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国に大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和 51 年法律第 72 号）第 1 条第 2 項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) その他次の要件を満たす者

大学を卒業後、研究機関、教育機関、企業等において、2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、学術論文、著書、研究発表、特許等により、修士学位論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者

(注) 13 頁の「出願資格(6)による出願について」を参照のこと。

- (7) 本研究科において、個別審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2021 年 3 月 31 日までに 24 歳に達している者

(注) 14 頁の「出願資格(7)による出願について」を参照のこと。

### 3. 募集人員

専 攻	研 究 室	募集人員
森林・環境資源科学*	土壌圏物質循環学 森林環境資源学 森林水文・砂防学 森林生態学 森林保護学 森林資源管理学 森林社会共生学 植物土壌システム 森林化学 循環資源利用学 木材物理学 木材工学 生物システム工学	若干名
植物生産科学	植物生理形態学 植物遺伝育種学 作物科学 作物ストレス制御 園芸科学 植物病理学 植物免疫学 耕地情報利用 食料経済学 植物遺伝子機能 ゲノム農学 植物ゲノム育種 生物産業創出 熱帯生物資源 生物遺伝情報 実践アフリカ開発 実践アジア開発	
動物科学	動物遺伝育種学 ゲノム・エピゲノムダイナミクス 動物形態学 動物統合生理学 動物生殖科学 動物栄養科学 動物生産科学	

	鳥類バイオサイエンス 水圏動物学 資源昆虫学 害虫制御学	
応用生命科学	生物有機化学 生物活性分子 天然物ケミカルバイオロジー 高分子生物材料化学 食品機能化学 応用酵素学 分子生物学 分子細胞制御学 分子生体制御学 糖鎖生命科学 動物細胞生理学 栄養生化学 土壌生物化学 応用微生物学 植物情報分子 生物化学 ゲノム情報機能学 光合成科学 分化情報制御 動物細胞機能 植物細胞機能 植物代謝システム** 環境調和システム**	

**入学志願者は、出願の前に志望先の研究室へ研究内容等について必ず問い合わせること。**

**(研究室については、研究内容及び教員一覧参照)**

※ 森林・環境資源科学専攻の入学志願者で希望する者は、2009年度より環境学研究科と共同で実施している統合環境学特別コースに参加し教育、指導を受け、研究を行うことができる。

なお、統合環境学特別コースに関する問い合わせは、農学部・生命農学研究科教務学生係に行うこと。

※※ 植物代謝システム研究室及び環境調和システム研究室は、独立行政法人理化学研究所環境資源科学研究センターとの連携によって2008年10月に新たに設置された連携研究室である。本研究室に所属する学生は、連携先において客員教員から研究指導を受ける。

#### 4. 出願期間

**2020年11月24日(火)から11月26日(木)(郵送の場合は16時必着)まで**

受付時間：9時から16時まで（11時30分から13時30分は除く）

#### 5. 出願書類

提出書類	必ず提出○ 該当者のみ提出△	
(1)入学志願票、写真票及び受験票	○	本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、作成すること
(2)写真	○	出願前3か月以内に撮影のものを、写真票に貼付すること
(3)成績証明書	○	学部（教養課程を含む）及び大学院の成績を証明するもの ※名古屋大学農学部を卒業及び大学院生命農学研究科出身者は不要
(4)修士学位（修士学位取得証明書）	○	名古屋大学大学院生命農学研究科を修了した者は不要
(5)TOEFLまたはTOEICのスコアシート	△	出願資格(6)又は(7)の者のみ提出 10頁の「7. 考査実施方法」の「(1) 外国語（英語）試験におけるスコアシートの提出」を参照のこと
(6)修士論文	○	修士論文（又はこれに相当する論文）写1篇及び要旨（和文又は英文）3通
(7)研究成果報告書	○	本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、本人が4,000字程度で記載，論文形式
(8)研究実績調書	○	本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、本人が記載
(9)研究歴証明書	○	本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、所属の長等が証明したもの
(10)受験承諾書	○	本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、所属

		の長等が証明したもの
(11)学術論文、著書、研究発表、特許等の写しの添付	○	
(12) 入学検定料	○	30,000 円 郵便普通為替で納入すること。購入方法の詳細は下記郵便局ホームページにて確認すること。 <a href="http://www.post.japanpost.jp/bank/exchange/">http://www.post.japanpost.jp/bank/exchange/</a> なお、 <u>指定受取人住所・氏名欄</u> は記入しないこと。 ※ただし、本学大学院研究科博士前期課程（修士課程）を修了し、引き続き本課程に進学する者は、入学検定料を要しない
(13)領収証書(控)・領収証書	○	本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、作成すること（ <u>氏名のみ</u> 記入すること）
(14)受験票返送用封筒	○	定形の長形 3 号封筒（12×23cm）に受験票を必ず受け取ることができる住所を記入の上 374 円切手を貼付ること

## 6. 出願手続

(1) 出願者は、前項の書類を取り揃え本研究科に提出すること。

また、郵送する場合には、封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書し、書留郵便で出願期間内に下記あてに必着するよう送付すること。

送付先 〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学農学部・生命農学研究科 教務学生係

(2) 出願手続後の書類の書き換え及び検定料の払い戻しはできない。

## 7. 考査実施方法

(1) 外国語（英語）試験におけるスコアシートの提出（出願資格(6)又は(7)の者のみ提出）

外国語（英語）の試験については、TOEFL または TOEIC のスコアによる判定を行う。ただし、出願資格(1),(2),(3),(4),(5)の者は免除する。

① 試験の方法

TOEFL または TOEIC あるいは両方のスコアシートを提出すること。筆記試験は実施しない。TOEFL または TOEIC の得点は以下の方法で算出したものを外国語得点として採用する。TOEFL 及び TOEIC 両方のスコアシートを提出した場合は換算後、いずれか高い方の得点を採用する。

■ TOEFL を利用した場合：

英語得点 =  $50 + (\text{TOEFL-iBT スコア} - 50) \times 5/3$ （100 点以上は 100 とする）

■ TOEIC を利用した場合：

英語得点 =  $\text{TOEIC スコア} / 10$

※ ただし換算された英語得点が 50 点未満の場合は不合格となる。その場合でも検定料の返還は行わないので注意すること。

② 対象となるスコア

TOEFL-iBT および TOEIC (Listening & Reading Test に限る) のいずれかの試験の成績を採用する。団体用の TOEFL-ITP, TOEIC-IP テスト, TOEIC (Speaking & Writing Test), TOEIC(Speaking Test)および TOEIC(Bridge Test)は認めない。なお、留学生で TOEIC-PBT のスコアを有している者は予め教務学生係に相談すること。

③ スコアシートの提出

TOEFL については、「Examinee Score Report」（受験者用控えスコア票）の原本を出願時に提

出すること。TOEICについては、「Official Score Certificate」（公式認定証）の原本を出願時に提出すること。

④ スコアシートの有効期限

入学試験実施日から過去2年以内（2019年1月5日以降）に実施され、出願時に提出可能なものを有効とする。

TOEFLの「Examinee Score Report」（受験者用控えスコア票）の原本の返却を希望する者は、封筒〔長形3号 12×23cm〕にあて名を書き、切手（374円）を貼付のうえ提出すること。  
なお、TOEIC「Official Score Certificate」（公式認定証）の返却は行わないので注意すること。

(2) 口述試験

日 時 2021年1月5日(火) 10時から17時までのうち1時間30分 または  
2021年1月6日(水) 9時から12時までのうち1時間30分  
(くわしくは1月5日(火)に指示する。)

口述試験の内容

志望する専攻の研究内容に関連した科目についての専門的学力、研究計画のほか、修士論文等、および外国語（英語）能力について実施する。

(3) 試験場

名古屋大学大学院生命農学研究科（農学部）

市バス「名古屋大学」、地下鉄「名古屋大学」駅下車、又は地下鉄「東山公園」駅下車南へ500m

## 8. 合格者発表

2021年1月6日(水)夕刻、本研究科の掲示板に掲示し、生命農学研究科ホームページ(<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/>)に掲載する。後日郵送にて本人あて通知する。

## 9. 入学手続

(1) 入学手続については、2021年3月初旬までに本人あて通知する。

(2) 入 学 料 282,000円 (予定額)

(3) 授 業 料 前期分 267,900円 (予定額)

(年 額 535,800円 (予定額))

(注) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

(4) 入学手続日は、2021年3月下旬(20日頃)の予定

## 10. 注意事項

(1) 考査実施の細部については、試験当日掲示する。受験者は試験開始20分前までに試験室に入ること。

(2) 障害等があって試験場での特別な配慮を必要とする者にあつては、2020年10月30日(金)までに、次の3点を農学部教務学生係へ提出してください。

1) 受験上の配慮申請書（障害の状況、受験上配慮を希望する事項とその理由等を記載したもの、様式随意、A4サイズ）

2) 障害等の状況が記載された医師の診断書、障害者手帳等（写しでもよい）。

3) 障害等の状況を知っている第三者の添え書（専門家や出身学校関係者などの所見や意見書）。

4) 適宜それ以外の書類を添付しても構わない。

なお、受験や入学後の修学に関して相談の希望がある者は、出願期限までにお問い合わせください。

## 11. その他

入学試験についての照会先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学農学部・生命農学研究科 教務学生係

電話 (052) 789-4299・4010

E-mail : kyomu@agr.nagoya-u.ac.jp

2020年9月

名古屋大学大学院生命農学研究科

<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp>

### ※不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合  
次のホームページ等により周知しますので、出願前や受験前は特に注意して

◇ 生命農学研究科受験生向けホームページ

URL [http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/jukensei/j\\_daigakuin.html](http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/jukensei/j_daigakuin.html)

◇ 連絡窓口

名古屋大学農学部・生命農学研究科 教務学生係

TEL 052-789-4299・4010



## 出願資格(6)による出願について

### 1. 出願資格(6)により出願する者は、次の要件を満たす者であること。

大学を卒業後、研究機関、教育機関、企業等において、2021年3月31日までに2年以上研究に従事し、学術論文、著書、研究発表、特許等により、修士学位論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者。

### 2. 出願資格審査

出願資格(6)により出願する者については、あらかじめ次の書類を2020年10月16日(金)〔必着〕までに、農学部・生命農学研究科教務学生係(「11. その他」の「入学試験についての照会先」を参照)へ提出又は郵送(書留郵便で封筒の表に「出願資格審査願」と朱書)し、出願資格の有無についての個別審査を願い出ること。

出願資格審査の結果は、2020年11月9日以降本人あて通知する。

受付時間：9時から16時まで(11時30分から13時30分は除く)

- ① 出願資格(6)による出願資格審査願 本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、本人が記載
- ② 大学卒業証明書
- ③ 研究成果報告書 本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、本人が4,000字程度で記載、論文形式
- ④ 研究実績調書 本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、本人が記載
- ⑤ 研究歴証明書 本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、所属の長等が証明したものの
- ⑥ 推薦書 本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、所属の長等が証明したものの
- ⑦ 学術論文、著書、研究発表、特許等の写しの添付
- ⑧ 返信用封筒 1通 出願資格審査結果通知用  
定形の長形3号封筒(12×23cm)に本人のあて名を記入し、374円切手を貼ること。  
(宛先が海外の場合は、返信に必要な郵便料金の国際返信切手券(IRC)を同封すること。)

### 3. 出 願 期 間

上記、出願資格審査の結果、出願資格「有」と判定された者は、9頁の「5.出願書類」を、2020年11月24日(火)から11月26日(木)までに教務学生係へ提出のこと。

郵送で出願する場合も、この期間内に必着のこと。

受付期間：9時から16時まで(11時30分から13時30分は除く)

## 出願資格(7)による出願について

### 1. 出 願 資 格

出願資格(7)により出願する者は、本研究科において、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2021年3月31日までに24歳に達している者であること。

### 2. 個 別 審 査

出願資格(7)により出願する者については、あらかじめ次の書類を2020年10月16日(金)〔必着〕までに、農学部・生命農学研究科教務学生係(「11. その他」の「入学試験についての照会先」を参照)へ提出又は郵送(書留郵便で封筒の表に「出願資格審査願」と朱書)し、出願資格の有無についての個別審査を願い出ること。

本研究科で個別審査を実施し、その結果は2020年11月9日以降に本人宛通知する。

受付時間：9時から16時まで(11時30分から13時30分は除く)

#### ① 出願資格(7)による出願資格個別審査願

本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、本人が記載

#### ② 修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があることを示す資料

※ 資料は下記の項目から該当するものを提出するが、一項目に限定しない。例：1)と3)

##### 1) 履歴に短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校等の学歴を有する者

これらについての卒業又は修了証明書(卒業又は修了見込みの者については、その証明書)、成績証明書及びシラバス(授業要目)

##### 2) 履歴に技術的・専門的職業についての職歴を有する者

その期間及び職務内容を明記した在職証明書及び本人の作成した成果報告書(様式は問わない)

##### 3) 履歴に研究歴を有する者

研究歴証明書(本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、所属の長等が証明したもの)、研究実績調書(本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、本人が記載)及び、研究成果報告書(本研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、本人が4,000字程度で作成、論文形式とする)

##### 4) 業績として学術論文、著書、研究発表、特許、作品等を有する者

これらを示す資料

#### ③ その他、審査の参考となる資料(自薦、他薦による推薦書など)

#### ④ 返信用封筒 1通 出願資格審査結果通知用

定形の長形3号封筒(12×23cm)に本人のあて名を記入し、374円切手を貼ること。

(宛先が海外の場合は、返信に必要な郵便料金の国際返信切手券(IRC)を同封すること。)

### 3. 出 願 期 間

上記、出願資格審査の結果、出願資格「有」と判定された者は、9頁の「5.出願書類」を、2020年11月24日(火)から11月26日(木)までに教務学生係へ提出のこと。

郵送で出願する場合も、この期間内に必着のこと。

受付期間：9時から16時まで(11時30分から13時30分は除く)

## 研究内容及び教員一覧

専攻	研究室名	研究内容	教員			
			教授	准教授	講師	助教
1. 森林・環境資源科学	1 土壌圏物質循環学	土壌圏を中心とした環境中における炭素、窒素、微量元素の循環、土壌有機物特に腐植物質の構造・機能・動態に関する研究。	渡邊 彰			
	2 森林環境資源学	森林環境を物質循環の視点でとらえ、環境化学や植物生理学の手法によりその制御機構を解明し、応用展開する。	竹中 千里 (2021年3月退職予定)			
	3 森林水文・砂防学	人と自然との関わりの多層性・多義性に留意しその実態を把握・解明しグローバルからローカルまで、そのあり方を提言するため、特に森林など様々な土地での水循環の動態、および地域社会と災害脆弱性について探究する。		田中 隆文		小谷 亜由美
	4 森林生態学	森林生態学、森林遺伝学、森林生態生理学に関する広範な研究。特に、森林群集の構造、動態、機能および樹木個体群の遺伝的多様性、繁殖、生態生理、物質生産と収支、理論モデリングなどに関する研究。	戸丸 信弘	中川 弥智子	小川 一治	
	5 森林保護学	森林や里山など緑域環境における生物群集の存在様式や生物間相互作用、生態系保全に関する研究。	肘井 直樹 (2022年3月退職予定)	梶村 恒		土岐 和多瑠
	6 森林資源管理学	森林の先端的計測技術の開発、森林資源管理に関わる理論の構築、森林の将来計画立案とその評価手法の開発に関する研究。	山本 一清			
	7 森林社会共生学	森林保全と地域住民の生計向上をめざした森林管理政策、森林認証制度、参加型森林管理、コミュニティフォレストリーや、木材・木材製品をめぐる企業の原木調達戦略に関する研究。	原田 一宏	岩永 青史		
	8 植物土壌システム	植物、土壌、微生物の三者間の相互作用を解明することにより、森林生態系(とくに人工林)の持続性、健全性を検証する研究。		谷川東子		
	9 森林化学	木質化の生化学、抽出成分の化学、リグニンの化学、リグニン機能性物質の調製、製紙科学、セルロースの化学に関する研究。	福島 和彦	松下 泰幸	青木 弾	
	10 循環資源利用学	樹木抽出成分の単離・構造決定、生合成、分布および利用。		今井 貴規		
	11 木材物理学	樹木の成長過程と成長応力及び材質発現機構、熱帯造林樹種の成長と木部成熟特性、木質形成の分子生物学、生物材料の水分・熱および力学特性。	山本 浩之	吉田 正人	松尾 美幸	
	12 木材工学	木材・木質材料の構造利用における力学的耐久性、木質構造の力学挙動解析、森林資源の材質分布と需給計画、木質による都市環境デザインなどに関する研究。		山崎 真理子		安藤 幸世
	13 生物システム工学	生物資源を対象とした計測システムおよび精密機械プロセスに関する研究。	土川 覚		稲垣 哲也	

(2020年10月1日現在)

## 研究内容及び教員一覧

専攻	研究室名	研究内容	教員			
			教授	准教授	講師	助教
2・植物生産科学	14 植物生理形態学	植物細胞・組織の機能分化や環境ストレスに対する応答について、構造と機能の両面からの理解を図り、作物を始めとする様々な有用植物の生理機能解明とその応用展開を行う。	谷口 光隆			大井 崇生
	15 植物遺伝育種学	栽培植物の系統分化、形態形成、遺伝子発現および新機能開発に関する遺伝育種学的並びに生物工学的研究。	中園 幹生	高橋 宏和		
	16 作物科学	作物生産の生理・生態学的解析、とくに環境応答・資源獲得に関する研究。	近藤 始彦	矢野 勝也		杉浦 大輔
	17 作物ストレス制御	水ストレス、塩ストレス耐性などに関わる生理・分子機構	山内 章 (2022年3月退職予定)		三屋 史朗	
	18 園芸科学	園芸作物の生産性向上のためのバイオテクノロジーおよび生理学・生化学・分子生物学的研究。特に、花器官の形成、開花、花色に関する生理、また、果実の結実生理および糖や二次代謝産物などの物質蓄積の解明とその制御。	松本 省吾	白武 勝裕	太田垣 駿吾	
	19 植物病理学	植物病原体の感染に対する植物の生体防御機構、植物病原体や有用微生物と植物の相互作用に関する生理学・生化学・分子生物学的研究。それらの成果を基盤とした生物防除法の開発に関する研究。		竹本 大吾 千葉 壮太郎		佐藤 育男
	20 植物免疫学	植物病原菌や害虫との相互作用で誘導される植物免疫の分子機構に関する研究。		吉岡 博文		
	21 耕地情報利用	作物の遺伝情報、形態、生理特性、生産物の収量や品質、土壌や気象等の生育条件等の様々な情報を収集し、それらの関係性を情報学的手法で解析することで有益な情報を抽出し、品種改良や栽培管理の改善を通じて作物生産を向上させるための研究	村瀬 潤	土井 一行		西内 俊策
	22 食料経済学	食料・農業問題、地域資源管理、農業の多面的機能等に関する社会科学のおよび学際的研究。	徳田 博美	竹下 広宣		三浦 聡
	23 植物遺伝子機能	植物の遺伝の機能を明らかにする研究およびその利用に関する研究。	芦苺 基行			永井 啓祐
	24 ゲノム農学	イネのゲノム情報やタンパク質の構造情報を、有用形質の開発や新規植物調節物質の創製に応用する。	松岡 信 (2021年3月退職予定)			
	25 植物ゲノム育種	環境・エネルギー・食の問題など、現代社会の課題解決を目指し、作物ゲノムビッグデータを活用しつつ、基礎研究から社会実装を見据えた応用研究まで一貫通貫型の先駆的育種学研究を展開する。	佐塚 隆志			
	26 生物産業創出	植物資源の価値化・保全へ向けた、接ぎ木、植物の全身性シグナル伝達メカニズムを中心とする基礎から応用までの研究。	上口 美弥子	野田口 理孝	黒谷 賢一**	
	27 熱帯生物資源	地域資源の開発と利活用、それを可能とする環境の保全による持続的発展を目指し、世界の食需要の多様化や気候変動に対応するための熱帯原産農林資源の探索や形質評価を行う。	江原 宏			仲田 麻奈
	28 生物遺伝情報	地域資源の開発と利活用、それを可能とする環境の保全による持続的発展を目指し、生物資源の有用形質遺伝情報の解析に関する研究を行う。	犬飼 義明			
	29 実践アフリカ開発	アフリカの熱帯地域における持続的な適正農林業生産技術の開発、新資源・技術の馴化と普及を図り、研究成果に基づく社会実装を実現することを目指す。		槇原 大悟		
	30 実践アジア開発	アジアの熱帯地域における持続的な適正農林業生産技術の開発、新資源・技術の馴化と普及を図り、研究成果に基づく社会実装を実現することを目指す。		伊藤 香純		

\*\*特任講師

(2020年10月1日現在)

## 研究内容及び教員一覧

専攻	研究室名	研究内容	教員			
			教授	准教授	講師	助教
3 動物科学	31 動物遺伝育種学	哺乳類および鳥類における様々な質的形質と量的形質の遺伝的基盤に関する研究、動物遺伝資源の評価と保全・利用に関する研究、ヒト疾患および生物機能研究用モデル実験動物の開発・育成に関する研究。		石川 明		山縣 高宏
	32 ゲノム・エピゲノムダイナミクス	脊椎動物におけるトランスポゾンや遺伝子のエピジェネティック制御機構の研究。生殖細胞形成期のエピゲノム制御機構の研究。種間および種内でのエピゲノムやゲノムの比較解析を通じた、ゲノムとエピゲノムの相互作用に関する研究。	一柳 健司			
	33 動物形態学	哺乳類および鳥類の神経統御と生殖制御に関する器官を中心とした生体構造の機能形態学的研究。	本道 栄一			
	34 動物統合生理学	脊椎動物(哺乳類、鳥類、魚類)の季節適応機構と概日時計機構の解明。季節繁殖や概日時計の制御を通じた動物生産性の向上とヒトの健康の増進に関する研究。ニワトリにおける成長制御と成長因子発現調節に関わる研究。	吉村 崇	大川 妙子		塚田 光 中山 友哉***
	35 動物生殖科学	哺乳類の生殖機能制御を担う神経内分泌学的な基礎研究と、そのメカニズムを利用した畜産や創薬への応用研究。	東村 博子	上野山 賀久	井上 直子	
	36 動物栄養科学	哺乳類と鳥類における代謝性疾患(2型糖尿病や脂肪肝など)の原因遺伝子と栄養学的制御因子の解明。鳥類の卵に含まれる生体分子の取り込み機構の解明とその仕組みを利用した有用タンパク質生産への応用。	堀尾 文彦 (2021年3月退職予定)	村井 篤嗣	小林 美里	
	37 動物生産科学	反芻家畜の生理機能の調節機序に関する基礎研究とその機能を利用した動物生産にかかわる応用研究。	大蔵 聡	松山 秀一		森田 康広***
	38 鳥類バイオサイエンス	脊椎動物における骨格パターン形成及び進化の解明を目指した分子発生生物学。鳥類特異的な有用遺伝形質を利用した遺伝学・分子細胞生物学。遺伝子改変技術を用いた鳥類モデル動物の作出と利用。	西島 謙一	鈴木 孝幸		
	39 水圏動物学	水産動物の神経系、感覚器、運動器に関する形態学的、生理・生態学的、進化行動学的研究、ならびにペプチドニューロンによる感覚・神経系～行動の持続的制御に関する神経生理学的研究。	山本 直之	阿部 秀樹		後藤 麻木 萩尾 華子***
	40 資源昆虫学	昆虫ウイルスの増殖機構とウイルスと宿主昆虫との相互作用、昆虫の抗ウイルス応答機構についての研究。	池田 素子			
41 害虫制御学	生理生化学・分子生物学的アプローチを通じた農業害虫の制御法開発に関する研究。		三浦 健	水口 智江可		

\*\*特任講師  
\*\*\* 特任助教

(2020年10月1日現在)

## 研究内容及び教員一覧

専攻	研究室名	研究内容	教員			
			教授	准教授	講師	助教
4 ・ 応用 生命 科学	42 生物有機化学	特異な化学構造と生物活性を示す天然有機化合物の生物有機化学的研究:新しい有機合成反応・合成方法論の開発,天然有機化合物の全合成研究と生物機能の解析・制御に関する研究。	西川 俊夫	中崎 敦夫		
	43 生物活性分子	植物、微生物、海洋生物などが生産する生物活性天然分子の同定、作用機構、生合成、受容体に関する研究。	小鹿 一	中川 優	近藤 竜彦	
	44 天然物ケミカルバイオロジー	生物現象を司る天然物の単離、構造決定、合成、生合成、および作用機序に関する研究。哺乳動物由来の麻痺性神経毒や、海洋生物の共生現象鍵物質に関する研究。蛍光プローブを用いた新たな標的分子の解析法の開発。	北 将樹			森田 真布
	45 高分子生物材料化学	糖鎖高分子、生物機能高分子、生分解性高分子、植物由来高分子およびこれらを活用した医用高分子の設計、精密合成、機能発現に関する研究。生物学的機能を有するバイオマテリアルの創出。	青井 啓悟	野村 信嘉		
	46 食品機能化学	食と健康をキーワードとした基礎研究、特に生活習慣病に関連した内因性因子としての酸化ストレス、及び外因性環境因子としての機能性食品に関する研究。		柴田 貴広		
	47 応用酵素学	ピリドキサル酵素やフラビン酵素の構造機能相関。アミノ酸の生理作用と代謝関連酵素に関する研究。微生物や酵素を用いた有用物質生産に関する研究。古細菌の脂質合成に関する研究。	吉村 徹 (2022年3月退職予定)	邊見 久	伊藤 智和	
	48 分子生物学	新規な生物機能分子、生物反応プロセス、解析システムを創成することを目的とした生物工学的研究。	中野 秀雄	岩崎 雄吾	兒島 孝明	DAMNJANOVIC, Jasmina
	49 分子細胞制御学	動物細胞の成長・分化・細胞死における情報伝達や細胞内輸送、細胞外分泌、遺伝子発現制御に関する生化学的および分子細胞生物学的研究。		柴田 秀樹	高原 照直	
	50 分子生体制御学	高等動物における蛋白質、核酸や複合糖質の生合成と生体内での動態、および免疫、受精・発生、細胞増殖・分化などにおける作用機構の生化学・分子細胞生物学的研究。		灘野 大太		大島 健司
	51 糖鎖生命科学	真核生物における糖鎖の役割の理解と制御を通じて、よりよい健康、環境、食を目指した農医薬融合研究を行っています。現在は主に精神疾患や癌をターゲットとしています。	佐藤 ちひろ			羽根 正弥***
	52 動物細胞機能	受精、発生、神経機能、免疫現象における細胞表面糖鎖が関与する細胞間相互作用と情報伝達に関する研究。	北島 健			吳 迪
	53 動物細胞生理学	真核生物における膜輸送体タンパク質、細胞外マトリックスタンパク質の生理機能と情報伝達に関する研究。		MATURANA Andrés Daniel	新美 友章	
	54 栄養生化学	栄養素(主にタンパク質・アミノ酸)による酵素および遺伝子発現の制御機構。3次元培養による肝臓特異的遺伝子発現の制御機構に関する研究。肝臓の概日リズムのメカニズムと時間栄養学。分岐鎖アミノ酸の代謝と生理機能。		小田 裕昭	北浦 靖之	
	55 土壌生物化学	水田生態系各部位に生息する生物群集の構造・特性と機能および生物間の相互作用に関する研究。	浅川 晋		渡邊 健史	
	56 応用微生物学	真核生物の情報伝達と遺伝子発現制御機構について、主としてカビを材料として分子遺伝学的、化学遺伝学的な面から解析を行なっている。	小林 哲夫 (2021年3月退職予定)	木村 眞		
	57 植物情報分子	栄養環境の変化に応答した植物の成長制御について、それに関わる情報分子の同定や生合成、輸送のしくみを分子レベルで解明することを目指した研究を行なっている。	榊原 均	木羽 隆敏	田畑 亮** 橋本 美海	
58 生物化学	花・花粉・根など植物の各器官の分化を引き起こす遺伝子の働きについて、生化学的・分子生物学的・分子遺伝学的・形態学的手法を用いて研究している。		石黒 澄衛		前尾 健一郎	
59 ゲノム情報機能学	クロロフィル生合成・窒素固定・概日リズム・ホルモン情報伝達の調節機構に関する研究を、主としてシアノバクテリア・植物を材料として、生化学的、細胞分子生物学的、分子遺伝学的観点から行っている。	藤田 祐一	山篠 貴史		山本 治樹 田中 奈月***	
60 光合成科学	高等植物とシアノバクテリアの光合成や無機栄養素同化を支える膜タンパク質の機能とその制御機構を研究する。				前田 真一 中西 洋一	
61 分化情報制御	高等植物の生長、分化における形質発現に関する生化学的・分子生物学的研究。	森 仁志				

## 研究内容及び教員一覧

62 植物細胞機能	高等植物の成長・分化制御とその環境情報応答に関する研究。	服部 束穂 (2021年3月退職予定)	上口 智治 武田 真		
63 植物代謝システム	植物の代謝制御機構の解明と有用物質生産への応用を目指したオミクス研究。	平井 優美			
64 環境調和システム	生命の優れた物質循環能と環境への調節制御能を計測・解析する方法論の開発と、その応用研究。	菊地 淳			

\*\*特任講師  
\*\*\*特任助教

(2020年10月1日現在)

2020年度 博士課程（後期課程）入学試験実施状況(2020年1月実施)

専攻	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数
森林・環境資源科学	6	1 [1] (0)	1 [1] (0)	1 [1] (0)
植物生産科学	9	1 [1] (0)	1 [1] (0)	1 [1] (0)
動物科学	7	1 [0] (0)	1 [0] (0)	1 [0] (0)
応用生命科学	16	2 [0] (0)	2 [0] (0)	2 [0] (0)
計	38	5 [2] (0)	5 [2] (0)	5 [2] (0)

注) [ ] : 社会人入試

( ) : 外国人留学生 いずれも内数